午王山遺跡だより

Vol.6
2024.1.5

「国史跡指定記念午王山遺跡展～独立丘に営まれた弥生時代の環濠集落～」に多数のご来場をいただきありがとうございました！

令和５年１０月５日（木）～１０月２９日（日）の期間で実施した「国史跡指定記念午王山遺跡展　～独立丘に営まれた弥生時代の環濠集落～」が無事に終了いたしました。期間中はのべ 5,418 人の方々にご来場いただくことができました。

【午王山遺跡出土土器の展示】
会場内にはたくさんの土器が並びました。

【展示担当職員の説明の様子】
参加した方からは様々な質問も寄せられました。

【実物大の環濠体験】
実物大の環濠の迫力にびっくり！

【他地域の土器】
関連する他地域の土器も展示されました。

【アンケートで寄せられた声（一部をご紹介します）】
- 和光市に３０年近く住んでいて、このような遺跡があったことを初めて知る事ができた。
- 遺跡の写真が大きくてわかりやすかった。
- 和光市にこれほど大規模な弥生後期の遺跡が存在していたことを初めて知った。歴史の書物では３世紀後半といえば邪馬台国を連想してしまうが、関東地方にもこのような素晴らしいものがあったことに感動した。
- 充実した展示内容とパンフレット。職員の方々の親切かつ最新の研究内容に即した御説明に感服いたしました。
- 国史跡指定をうけたのですから、もっとアピールした方が良いと思います。
- 子ども達が日常的に見られる施設があると良いと思います。

午王山遺跡展　～記念講演会と関連講座も大盛況でした！～

展示会に合わせて実施した記念講演会と関連講座にも多くの方にご来場いただきました。和光市内だけではなく、遠方からわざわざご参加いただいた方も多く、午王山遺跡への関心の高さを改めて実感いたしました。

記念講演会

記念講演会では、石川日出志先生（明治大学）、柿沼幹夫先生（さいたま市遺跡調査会）、小倉淳一先生（法政大学）の３名の先生にご講演をいただきました。

石川日出志先生
「国史跡午王山遺跡の時代」

柿沼幹夫先生
「午王山遺跡の弥生土器を読みとく」

小倉淳一先生
「環濠集落午王山遺跡」

講演会では元永拓様、滝野瀬あゆか様により「いにしえの光と祈りの音楽　～銅鐸と尺八～」と題した演奏もご披露いただきました！

関連講座

関連講座では、鈴木敏弘先生（和光市文化財保護委員）、遠藤英子先生（明治大学黒耀石研究センター）の２名の先生にご講演いただきました。

鈴木敏弘先生
「午王山遺跡と弥生時代の祭祀について」

遠藤英子先生
「午王山遺跡のイネ・アワ・キビ
-和光市周辺での農耕のはじまり-」

午王山遺跡　発掘現場公開！

令和５年 11 月から開始した午王山遺跡の発掘現場を公開いたします！事前予約は不要です。この機会に午王山遺跡までぜひお越しください。

【見学会概要】
■日時：令和６年１月１０日（水）10：00～11：40
■場所：午王山遺跡（和光市新倉三丁目 11-39 付近）
■備考：駐車場はありません。徒歩か自転車でお越しください。
雨天の場合は中止となります。
足元が大変悪くなっておりますので、サンダル・ハイヒール等はご遠慮ください。

編集：和光市教育委員会生涯学習課文化財保護担当
電話：048-424-9119（直通）　E-mail：h0300@city.wako.lg.jp
発行：令和６年１月５日